

平成18年度 第47回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成19年3月6日(火) 13:30~15:30

場 所 北方キャンパス本館 E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、晴山副学長、近藤副学長、国武副学長、羽田野事務局長、板谷
外国語学部長、迎経済学部長、木下文学部長、三宅法学部長、松藤国際環境工学
学部長、谷村社会システム研究科長、柳井学生部長、中野教務部長、棚次学術情報
総合センター長、伊野入試センター長、漆原基盤教育センター副センター長、吉
塚地域貢献室副室長、前田評価室副室長

配布資料

- 1-1-1 教育採用選考報告書(国際環境工学研究科)
- 1-1-2 教員採用選考報告者(国際環境工学研究科)
- 1-2 退職願(国際環境工学部)
- 2 教育研究審議会の構成について
- 3 利益相反委員会名簿(案)
- 4 奨学寄附金の活用について
- 5-1 平成18年度後期学友会交渉申し入れ書 回答(案)
- 5-2 平成18年度前期学友会交渉申し入れ書 回答
- 6 北九州市立大学国際環境工学部規程の改正点について
- 7 出版助成制度、海外・国内研修制度の運用改善について
- 8 科学研究費補助金への申請の推進と外部資金獲得への優遇措置について
- 9-1 教員組織のあり方について
- 10-1 公立大学法人北九州市立大学 平成19年度計画(案)
- 10-2 平成19年度計画案と各組織からの意見案の比較表
- 10-3 平成19年度計画案に対する各学部・センター等からの意見
- 11-1 全学各種委員会組織の見直しの修正案
- 11-2 各委員会名簿
- 11-3 全学各種委員会組織の見直しに案に対する各学部・センター等からの意見
- 12-1 マネジメント研究科の特任教員の選考について
- 12-2 2007年度 マネジメント研究科入学者選抜試験 志願状況
- 13 カリキュラムワーキング会議の設置について
- 14 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

(冒頭、第46回教育研究審議会議事録(案)について確認)

第1号 教員の採用・退職について

* 国際環境工学研究科環境工学専攻4月採用人事(土壌汚染回復・地下水汚染制御分野)について、選考委員会から、採用候補者(伊藤 洋氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき、採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 国際環境工学研究科環境工学専攻4月採用人事（地球環境と経済分野）について、選考委員会から、採用候補者（加藤 尊秋氏）の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき、採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 国際環境工学部からの申請に基づき、1名の退職の承認について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第2号 平成19年度教育研究審議会の構成について

* 平成19年度教育研究審議会の構成について、資料2のとおり提案。

●大学院の研究科長は全員が教育研究審議会の委員になるわけではないのか。

○学部から独立した教員組織を持つ研究科を対象としている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 利益相反委員会の設置について

* 北九州市立大学利益相反要綱第6条に基づく利益相反委員会の設置について、資料3のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 奨学寄附金の活用について

* 奨学寄附金の活用について、資料4のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第5号 学友会交渉申入書に対する回答案について

* 平成18年度後期学友会交渉申し入れ書回答案について、資料5のとおり提案。

【議長】各学部等からの意見をいただき、次回、審議・決定してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第6号 規程等の改正について

* 北九州市立大学国際環境工学部規程の改正について、資料6のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第7号 出版助成、研修制度等の運用改善について

* 出版助成制度、海外・国内研修制度の運用改善について、資料7のとおり提案。

●研修終了後3年間は本学での教育に従事するという条件は、守られないのではないか。

○費用の返還を求める大学もある。方策を検討したい。

【議長】各学部等から意見をいただき、次回、審議・決定してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第8号 科学研究費補助金への申請の推進と外部資金獲得への優遇措置について

* 科学研究費補助金への申請の推進と外部資金獲得への優遇措置について、資料8のとおり提案。

●科研費について、共同研究者としての申請も算定の対象に入るのか。

○対象に入る。

●科研費の申請については、学部・学科で学問分野によって研究費を申請できる頻度に差がある。一律に申請を原則とすることは困難ではないか。

○中期計画で定められている事項であり、協力いただきたい。学部によって事情が異なってくることは理解しており、その辺りは学部長等による意見交換で確認してもらいたい。

●外部資金獲得の優遇措置として、報奨金が提案されているが、大学にはなじまないのではないか。金銭面に限らないインセンティブが必要ではないか。

○サバティカル制度も提案している。個人で選択してもらえればと考える。

●サバティカル制度の適用も学部によって個別に基準を定めないと学部運営に支障が生じる可能性がある。

○意見として提出いただきたい。

【議長】各学部等から意見をいただき、次回、審議・決定してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第9号 教員組織のあり方について

* 教員組織のあり方について、資料9-1のとおり提案。

- 特命教授の選考は、各学部からの推薦で行われるのか。
- 学部の場合もあれば、そうではない場合もある。特命の内容による。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第 11 号 各種委員会の構成について

※ 全学各種委員会組織の見直し修正案について、資料 11-1、11-2、11-3 のとおり提案。

○基盤教育センターと学部との調整は、学部教員を含む拡大部門会議で行い、意見が異なった場合の調整は教務部委員会で行う。

●委員会によっては業務量が多く、学部からの委員が 1 名では負担が大きい。

○原則として、学部を代表して意思決定が必要なものは、1 学部 1 名とする。個別・専門的で協議が必要な場合は、分科会やワーキングを別途設ける等に対応したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ①マネジメント研究科の教員体制及び志願状況について、資料 12-1、12-2 のとおり報告があった。
- ②新組織設置準備委員会 カリキュラムワーキング会議の構成について、資料 13 のとおり報告があった。
- ③教員の海外出張について、資料 14 のとおり報告があった。
- ④次回の審議会を 3 月 7 日（水）開催する予定である旨、報告があった。